



# すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和5年 夏休み号  
杉並区立杉並第三小学校  
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13  
TEL 03-3314-1564  
FAX 03-3314-1449

## 「ある少年の17日間の記録」

校長 森賀 慎一

いよいよ明日から夏休みが始まります。1学期を振り返ると、様々な学習や行事があって、子どもたちの成長がたくさん見られたと感じています。保護者・地域の皆様には多大なるご支援をいただきましたこと、感謝申し上げます。

さて、夏が来ると、思いたす…皆さんはどんなことが頭に浮かぶでしょうか。私は職業病かもしれませんが、「自由研究」の季節がやってきたなと感じています。とは言っても、子どもの頃の自由研究は何をしようかと考えているふりをしながら毎日が過ぎていき、夏休み最後の数日にあたふたしてしまうことが常でした。

しばらく夏の自由研究から離れ、大人になり教員となって学級担任になると、受け持つ子どもたちが自由研究に夢中になることを願い、子どもや保護者の皆さんに自由研究を熱く語る時代がありました。そして子どもをもつ父親となり、我が子が小学生になって、いざ自由研究に取り組むとなった時、親の苦勞が分かりました。ほっておいても何かに興味をもって調べ出す子もいるのですが、うちの子は残念ながらそんなタイプではなく私の問いかけにも生返事を繰り返すだけで、まさに暖簾に腕押し状態でした。

長男は父親似で残念だと思い、長女、次男と期待をしてみました。子どもの興味を引き出し探究の楽しさを味わわせるのはそんなに甘くないことを痛感しました。

今、末っ子三男が小学校6年生になったので、これが最後のチャンスと思って期待と不安を高めているところです。幸い、料理に興味をもち家

族に簡単な料理をふるまっているので、そこからヒントをもらい何か彼が探究し続けられることへとサポートしようと考えているところです。

先日の全校朝会では、「身近で疑問に思ったことを調べてみてはどうだろう」という話をしました。そして、私がこの数週間をかけて実施した自由研究を子どもたちに発表しました。「ある少年の17日間の記録」というタイトルです。私は毎日三男の寝相がどこか似ているなということに気付きました。もしかしたら人によって心地のよい寝相があるのかもしれないと思い、毎朝三男の寝相を写真に撮り、それをスライドにして発表しました。ただの寝相の写真を17枚見せられた子どもたちは、困ったような顔をしていたり、面白そうといった顔をしたりしている子もいました。

私が伝えたかったのは、自由研究の課題って、「身近な疑問でよいこと」、「少しずつでも継続して取り組めること」、「自分の興味が湧いたこと」でいいんだよということです。もちろん科学的視点だったり、図書館を活用したりした研究にも取り組んでもらいたいのですが、どちらかという自由研究が苦手という子どもには、こんなことでも課題になるということをお伝えしたかったのです。2学期に子どもたちが持ってきてくれる自由研究を、楽しみにしています。今年も「校長先生賞」を作って表彰します。2年生のある子は、私の顔を見るたびに「今年は校長先生賞取れるかなあ…」と聞いてきてくれます。たった一人でもこれを励みにしてくれる子がいることが、私の励みにもなります。皆さん、よい夏休みをお過ごしください。